

ハートで語ろう！ふらっとミーティング対話記録

日時 平成22年5月26日 19時～

会場 歴史文化伝承館

1 出席者

市民20人、市長、副市長、教育長、市長室長、総務部長、総務部参事、財務部長、環境部長、市民部長、健康福祉部長、健康福祉部参事、産業観光部長、地域整備部長、吉田総合支所長、大滝総合支所長、荒川総合支所長、病院事務局長、水道部長、教育委員会事務局長、議会事務局次長、すぐやる担当、事務局

2 事前質問回答要旨

Q：下水道センター改築更新事業の内容はどうなっているのか。

A：建設後30年を経過し、ほとんどの設備は耐用年数が過ぎたことから、既設の機械・電気設備等の改築更新工事を平成22年度から3年計画で実施するものです。

Q：秩父太平洋セメントのプラントが行う産業廃棄物の焼却に対し、条例による厳しい環境チェックと指導をお願いしたい、また、過日、大野原で行われた会社主催による説明会の内容を教えてほしい。

A：同社では、従来からセメント製造工程において、原料や燃料として活用できる産業廃棄物の処理を行っています。この処理について秩父市と同社は、公害防止協定を結んで、毎月1回産業廃棄物の搬入量の報告と2か月に1回の排ガス測定結果を提出させています。同社は、普通セメントの生産中止後は、焼成・焼却以外の廃棄物中間処理事業を継続しますので、今後も監視・指導をしていきます。

なお、住民説明会で会社側からは、普通セメント生産中止の概要と継続するリサイクル事業、今後のスケジュールの説明があり、21件の質疑応答がされたとのこと。主な質疑は、周辺環境への影響、廃棄物の取扱量、地域と会社で協議会を作る提案などで、工場設備の有効利用に向けた期待の声もあったとのこと。

Q：同社の搬入・焼却される廃棄物に対し、重量に応じ環境税として課税できないか。

A：現在、県レベルでは産業廃棄物税として課税しているところもありますが、市町村レベルでは課税されていません。実効性等を考慮した場合は、一市町村で取り組むのではなく、県レベルで考えるべきだと考えられます。秩父市としては、現段階では環境課税等の法定外目的税の新設については検討していません。

Q：渋滞緩和のため、国道140号の下宮地町から日野田町までの区間において、右折に使う1車線を上下車線の間設置できないか。

A：国道140号の三車線化は、現実に交差点に右折レーンを設置して三車線分が確保されている箇所があり、幅的には可能だと思いますが、街路樹を切ることで景観が損なわれる恐れがあります。道路管理者の秩父県土整備事務所に話を上げてみます。

Q：夜祭の際に設置される「団子坂上の栈敷席」を廃止し、その部分を一般開放してはどうか。また、お年寄りや体の不自由な方が見られるスペースを、歴史文化伝承館に設置してはどうか。

A：秩父公園内の栈敷席は、昭和49年から秩父警察の指導により屋台運行及び引き上げに際し観光客の安全を確保し、祭りを楽しんでいただくため設置を始めました。祭りの安全を図るためにも、栈敷席の設置や公園内の規制は必要だと思われます。また、歴史文化伝承館を秩父夜祭で開放することは、施設内外の警備等様々な問題があり慎重に検討しています。

3 対話記録要旨

Q：秩父市の世帯あたりの所得はどのくらいか。

A：手元にないので、後でお知らせします。（翌日、統計データを渡しました。）

Q：秩父市の財政状況はどうなっているのか。

A：財政力指数は、県内の市で最低ですが、健全化指数は良好で、市債を起こせないほど悪化してはいません。財政力は弱いですが、健全性を保っています。

Q：合併特例債は借金なのか。また、枠を使い切ったらどうなるのか。

A：合併特例債は、国が認めた借入金ですが、返還金の7割は交付税という名目で秩父市に支給されます。合併後10年間で約240億円借金が可能です。現在100億円ほど使いましたが、上限に達したら起債はできなくなります。

Q：秩父市には、人口2,600人あたり1人の市議会議員がいるなど、同規模の鶴ヶ島市に比べて多すぎる。歳出削減にもつながるので、議員定数をもっと削減すべきだ。議員の報酬や議会の年間開催日数は、どのくらいなのか。

A：議員定数については、5月臨時会で設置された議会改革特別委員会において、今後の議員定数についても話し合われていくのではないかと推測されます。報酬額は月額34万3千円で、政務調査費などを含めると、議員一人あたり年間600万円を超えます。年4回の定例会は、一議会あたり15日から20日の会期となっています。

Q：市議会議員の実働日数が少なければ、減額すべきではないか。

A：議員の中には毎日市役所を訪れ、熱心に勉強している議員もいます。議会中に鋭い質問で問題点を指摘され、市側でもこれに奮起して対応したような事例もあります。議員定数や報酬については、議会改革特別委員会で話し合われると思われます。

Q：市役所内で、スイカなどのカードが使えるようにならないか。

A：システム改修などでばく大な費用がかかり、カードを納税等に利用するのは現状では難しいです。

Q：もっと小さなことから、できる範囲でカード利用をしたらどうか。

A：検討してみます。

Q：宮地あたりに比べ、熊木町や野坂町のあたりが暗い。照明に必要な費用を寄附でまかなうなど、様々な方法で地域を明るくしてほしい。

A：照明の充実や、明るい雰囲気づくりも検討していきます。

Q：下水道センター改築更新事業について、地元説明会を開催してもらえないか。

A：議会での議案などの手続きが終了したら、地元説明会を開きます。

Q：今年9月には、アメリカ国債が値崩れすると言われている。金融不安が引き起こす世界的な大不況は、その構造と根本原因を理解し、皆で共有しないと解決できない。日本、ひいては秩父の行末を視野に入れ、しっかりと舵取りをしてもらいたい。

A：国が提唱する地域主権の考えにより、住民参加型で色々な意見を取り入れて難局を乗り切っていきます。

Q：国民健康保険に加入の場合、診療した際の一部負担が、一律に1割・3割と定められているのは不公平だ。年収が高い人ほど一部負担の割合が大きい制度にすべきだ。

A：市だけでは解決できません。機会があれば、国や県に提案していきます。

Q：今回、ふらっとミーティングの参加者が少ない。有意義な話し合いなので、もっと町会へ参加を働きかけるべきではないか。

A：平日で、本日は「チャレンジデー2010」の実施日でもあり、大雨も降っていることから、参加者が少なかったようです。今後、市民の方との意見交換会は、形を変えて行っていきます。